



長尾小学校だより 2月号

令和8年（2026年）1月30日 宝塚市立長尾小学校長 高橋 剛

地域合同防災訓練で命を守る力を

「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」…昔から言われてきたこの言葉のとおり、年が明けてからの時間の流れは驚くほど速く感じられます。年始の慌ただしさに追われているうちに、一月もあっという間に過ぎ、気がつけば残り二か月となりました。

そんな1月16日（金）、本校では地震想定避難訓練と地域合同防災訓練、防災給食を実施しました。今回の地震想定避難訓練は、阪神地域で震度5以上の地震が発生したという想定のもと、長尾幼稚園のみなさんと合同で行いました。サイレンが鳴り響く中、子どもたちは「おさない・はしない・しゃべらない・もどらない」を胸に刻み、緊張感の漂う教室から避難を開始。廊下には「落ち着いて!」「こっちだよ!」という声が飛び交い、真剣な表情で一歩一歩進む姿に、命を守る行動の大切さが感じられました。激しい揺れによって周囲の物が倒れたり落下したりし、校舎内の東階段が崩れて通行できないという緊迫した状況を想定した訓練でした。訓練後、子どもたちには次のような話をしました。

テレビのニュースで地震や津波、台風や大雨による被害の映像を見ると、誰もが『こわいな』『大変だな』と感じます。でも、心のどこかで『自分のところには起こらない』と思ってしまうものです。しかし、地震はいつ起るか分かりません。だからこそ、自分の命を守るために、自分で考えて行動することが大切なのです。家庭で話し合い、防災グッズを準備すること、非常食や水を備えること、避難場所を確認することも忘れないでください。

防災給食では、避難所での炊き出しを想定した献立を体験し、実際におにぎり作りにも挑戦しました。阪神・淡路大震災から31年。当時、宝塚市も大きな被害を受け、本校も避難所となりました。県内外から駆けつけてくださった多くのボランティアの方々に助けられ、給食室が被害を受けた中で、学校再開後もしばらくはパンと牛乳だけの冷たい簡易給食が続いたこと…防災給食は、そうした実体験から生まれたものです。

今年は6年ぶりに『地域合同防災訓練』を実施することができました。当日は、長尾まちづくり協議会、民生委員、自治会、防災リーダー、保護者ボランティアの皆さんをはじめ、長尾地域を支えてくださっている多くの方々、そして市防災部局や東消防署の職員のみなさんが学校に集まり、校内にはいつもとは違う緊張感が漂っていました。

生活科室では、子どもたちが地域の方々の話に真剣なまなざしを向け、阪神・淡路大震災当時の体験談に耳を傾けていました。「あの時は突然、立っていられないほどの揺れが来ました」という言葉に、子どもたちは災害が決して他人事ではないことを実感している様子でした。砂場では、実際に土を袋に詰め、力を合わせて土嚢作り訓練を行いました。重たい土嚢を前に、声を掛け合いながら必死に運ぶ子どもたちの姿からは、「自分たちの手で守る」という意識が育っていることが感じられました。

また、AEDの使い方や心肺蘇生法の訓練では、消防署の方の丁寧な指導のもと、緊張した面持ちで一つひとつの動きを確かめながら取り組む姿が見られました。簡易担架による搬送訓練では、「頭をしっかり支えて」「ゆっくり進みましょう」と声を掛け合い、慎重に仲間を運ぶ体験をしました。避難所開設訓練の見学では、地域の方々が役割分担をしながら、手際よく準備を進める様子を間近で見学し、災害時には多くの人の連携が欠かせないことを学びました。

学校・地域・行政が一体となった今回の訓練は、子どもたちにとって「命を守る学び」を肌で感じる貴重な機会となりました。この経験が、いざという時に自ら考え、行動する力へつながっていくことを願っています。

地域と自然に学ぶ～フィールドワークで育む『生きる力』～

本校では、地域や自然の中に一步踏み出し、実体験を通して学ぶフィールドワークを大切にしています。フィールドワークは、単なる校外学習ではありません。子どもたちが「自分の目で見て、肌で感じ、頭で考え、そして行動する」ための、かけがえのない学びの場です。地域の歴史を調べる学習では、実際に史跡を訪れ、地域の方のお話に耳を傾けます。目の前に広がる景色や語られる体験談に触れることで、教科書の文字だけでは想像しきれなかった歴史が、ぐっと身近なものとして心に刻まれていきます。これらのフィールドワークを通して、子どもたちは「自分で課題を見つけ、調べ、学びを深める主体的に学ぶ力」「地域の方や仲間と関わり合いながら進めるコミュニケーション力」「その場で考え、判断し、行動する問題解決力」を着実に身につけていきます。2月には、5年生が奈良公園・春日大社、6年生が京都の知恩院から清水寺へと、学年に応じたフィールドワークを予定しています。歴史と文化、そして自然に囲まれた学びの場で、子どもたちはまた一回り大きく成長してくれることでしょう。

2月行事予定

日	曜日		日	曜日	
1	日		15	日	
2	月	全校朝の会 全校音楽 ハートフル週間(～6日)	16	月	参観・懇談会(高学年)
3	火	全校研究会(1年生以外は給食終了後下校)	17	火	参観・懇談会(低学年) 一斉防犯活動 ふれあい作品展(～20日:西公民館)
4	水	体育共同研究会(2年5組)	18	水	ようこそ先輩特別授業(6年:オリンピック選手)
5	木	七輪体験(3年) 中学校生徒会交流(6年) SC特別授業(5年) 定時退勤日	19	木	ようこそ先輩特別授業(6年:プロダンサー) 定時退勤日
6	金	林家染左さんは、本校出身の落語家です。NHK 連続 テレビ小説「ちりとてちん」に出演、「わろてんか」では 落語指導をされました。	20	金	校外学習(5年:奈良)
7	土		21	土	
8	日		22	日	
9	月	会議日(5校時終了後下校)	23	月	天皇誕生日
10	火	校外学習(6年:京都) 林家染左さんによる出前落語教室(5年)	24	火	古紙回収
11	水	建国記念の日	25	水	食育出前授業(1・2年)
12	木	スタディ入級説明会 定時退勤日	26	木	定時退勤日
13	金		27	金	安全対策委員会 校外学習(1年:平井公園)
14	土		28	土	

お知らせとお願ひ

1.スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカー出勤日

本校では週1日スクールカウンセラーの筒井優介先生が来校されます。10時から16時頃まで面談可能となります。2月5日(木)12日(木)19日(木)26日(木)が来校日です。同じくスクールソーシャルワーカーの西野緑先生は、2月6日(金)13日(金)20日(金)27日(金)が来校日です。面談を希望される方は、事前に担任または特別支援コーディネーター(上山教諭)まで連絡(88-2031)をしてください。

2.白衣の修繕について(お願ひ)

子どもたちは輪番制で給食当番を行っており、週末に持ち帰っています。その際、保護者の方に洗濯とアイロンがけをお願いしているところですが、ボタンが取れかかったり、ほつれ等があつたりした場合、できる限り修繕していただきますようお願いします。古い白衣を交換したり、点検・修繕をしたりしていますが、日頃から修繕することで白衣を長く・気持ちよく使うことができますので、是非ともご協力ください。なお、ボタンがなくなっている場合は、担任にご連絡ください。学校で修繕いたします。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

3.ようこそ先輩特別授業について

6年生はキャリア教育の一環として、自分の夢や目標を描き、その実現に向けて今できることを考える活動を進めています。この取組では、「将来なりたい自分や興味のある職業について調べる」「夢をかなえるために必要な力や努力を考える」「学校生活で取り組むべきことを整理する」などを通じて、児童が自分の未来を主体的に設計する力を育んでいます。「夢を持つこと」「努力することの大切さ」を実感し、進学や社会生活への意欲につなげることをねらいとしています。

その一環として、『ようこそ先輩特別授業』を実施しています。1月には、本校出身の消防士・小畠雄飛さんに講話をしていただきました。2月には、東京オリンピック女子シンクロ飛び込み6位の板橋美波さん(宝塚小出身)、そして米津玄師やちゃんみななどの有名アーティストのバックダンサーとして活躍され、2025年の紅白歌合戦にも出演されたプロダンサーの益田妃奈さん(長尾小出身)を招聘し、6年生にお話しいただく予定です。

先輩方の経験や努力の話を聞くことで、子どもたちは夢を持つことの素晴らしさや挑戦する勇気を学んでいます。

3月の主な行事予定

2日(月)	全校朝の会 全校音楽 会議日(5校時終了後下校)
6日(金)	六年生を送る会
9日(月)	社会見学(2年:平井車庫) 会議日(5校時終了後下校)
10日(火)	社会見学(2年:平井車庫)
13日(金)	校外学習予備日(1年)
17日(火)	一斉防犯
18日(水)	給食終了 大掃除(5校時) 卒業式リハーサル(1・2校時)
19日(木)	卒業式準備
23日(月)	卒業式(1～5年は家庭学習)
25日(水)	修業式 離任式